



湘南桜友会報

第8号 平成20年12月1日発行

発行責任者 竹内 猛
編集責任者 内海 孝夫
事務局 茅ヶ崎市中海岸 4-4-11
浦田憲一方

卒業50周年記念同期会雑感

湘南桜友会会長 竹内 猛(昭和33年政経)

平成20年は、私にとって、学習院大学卒業50周年にあたる記念すべき大切な年である。

一口で50年といってしまうば＝光陰矢の如しで終りだが、五十年(半世紀)とは一年一年或は一日一日が積み重なったものなので、実は仲々中味の濃いものだと思える。

そこで、後続の諸姉兄も何れは通る道なので、我々が同期会の「桜星会」(昭和29年入学及び33年卒業同期者)についてふれておきたい。桜星会の「星」は、同期生の常陸宮のニックネーム「火星ちゃん」の星を頂戴したものである。無論、宮様のご了解を得て。

昭和29年の新入学者は全学部合計731名であった。当時の学習院大学は全学2~3千人の小さな大学だったが、安倍能成院長のもと、有名教授や新進気鋭の先生方がおられ、実に特色のある、他校からは一目も二目もおかれる存在だった。今は就職率の良いのが誇りと聞かすが、当時は学問もしっかりしていたと思う。

ところで我々の同期会は、卒業25周年目(昭和58年)から5年の節目毎に開催しており、今回の卒業50周年記念会は、6回目となる。

四半世紀の間、継続して開催できたのは、一に部活やホームルームを通じての横につながる仲間が30人ほど居り、家族ぐるみでの付き合いが続いていたこと。～実は、花見や月見はたまた牡丹鑑賞などと称し、折にふれ麻布の禅寺(同期が和尚)に集い、旧交を温め情報交換をしていた。～この仲間が、実動部隊として活動できたこと。その二は、グループの中心に、企画から実施までを得意とする広告会社社員が居たことで、しかも本人は元応援団長、まさに鬼に金棒であった。定年後は、イベント学で大学教授に納った。



学習院大学 卒業50周年記念桜星会

(昭和29年入学・昭和33年卒業同期会)

平成20年12月13日(土)
於 学習院創立百周年記念会館

学習院院歌

一
もゆる火の火中に死にて また生るる不死鳥のごと
破れさびし廃墟の上に たちあがれ新学習院

二
花は咲き花はうつらふ 過ぎし世の光栄ふみしめて
まなかに世界ををさめ 現実を生きてしぬかん

三
なげかめや昔を今と 荒波に狂わば狂へ
黒髪よけてはとさせ 我が胸は希望渦巻る

四
二つなく享けし我命 おのがじし育て勤へて
もろどもに世にぞ捧げん 常照らせ真理と平和

交唱 能成 佳純
作詞 堀 佳典

好事魔多しというが、この応援団長教授が50周年を前に急逝。残された仲間が開催するしないの議論の末、故人の意志を継いでやると決定。さあそれからが大変。手馴れぬ者達で、何とか発起人会は発足できたが、その後も手探り状態。然し案内状の発送迄は無事終了。住所判明者は約560人で、入学時の約25%の人が死亡か住所不明で、甚だ残念な結果であった。

また、来賓として一番お会いしたい在学当時の先生方は、殆ど鬼籍に入られており、数少ないご存命の先生方も「高齢のため外出不能」とのご返事が多く、誠に淋しい思いがしている。

最後に、後輩の為になるようこの機会に50周年に合わせた数字での学校への寄付金をうみだすべく、発起人一同老いた脳を無理して働かせていることを、そっといっておきたい。

その意味で、12月13日が盛会であることを祈るや切なのである。

《会員の近況／活動》

～明治郷土資料室の事～

星 博(昭和45年経済)

辻堂駅北口は現在カントク跡地の再開発が進められておりますが、駅から歩いて5分位の所にある明治市民センターの2階に明治郷土資料室があります。私は2年前のオープンの時より運営委員としてそこで活動しております。

現在の明治地区は江戸時代には羽鳥村と呼ばれており、徳川幕府の旗本が代官として治めておりました。

資料室は「耕余塾を中心とする郷土の文化・歴史遺産を後世に」というコンセプトを掲げて、平成18年3月28日にオープンしました。

耕余塾は明治5年に旧姫路藩の武士で儒学者であった小笠原東陽先生(初代塾長)を羽鳥村の大地主である三贅家が招き、その当時は廃寺であった徳昌院の本堂を教室にして始まったもので、寄宿舎も兼ね備えた相模の国第一の高等学府と当時云われた私塾でした。

明治30年9月に台風のために塾舎が倒壊して閉鎖されるまでの25年間、塾で学んだ生徒の数は千人を優に超えております。

学習院に縁のある人物では元首相の吉田茂氏、元院長の山梨勝之進氏、その他に味の素の創業者である鈴木三郎助氏、自由民権の政治家である平野友輔氏も塾の卒業生です。

資料室では常設の展示とは別に年に数回テーマを変えて企画展示を行っていますが、本年の10月より12月までは「私たちの過ごした昭和」、来年の2月より4月までは「まちの文化・文化財・人材展」を予定しております。

湘南桜友会の皆様の中で明治・大正・昭和40年代まで使われていた書物・道具類、古写真・古文書など所蔵されている方は、展示物として貸与して頂ければとお願い申し上げます。

ぜひ一度、郷土資料室のご見学にお越し頂き、郷土の歴史の一面に触れて頂きたいと思っております。

*連絡先 住所： 藤沢市辻堂太平台 1-4-27

Te l : 0466-36-7168(星 迄)

《新役員の紹介》

～ささやかな楽しみ～

野口記一(昭和41年経済)



2006年5月5日生後2ヶ月のダックスフンドRyuが我家にやってきました。娘たちは結婚し、最後に残った息子が我々夫婦に贈ってくれたプレゼントです。

Ryuはレッドのロングヘアーで6匹生まれて一番最後まで売れ残った犬だそうで、何しろ臆病!我々にとって室内で初めて飼う動物で、飼育書を何冊も買って訓練しましたが、臆病癖は治らず、散歩しても他の犬に吠え掛かったり、我家に尋ねてこられるお客様にも吠えまくるわ大変です。

羨のためにテレビで金曜日夜7時からの「ポチタマ」は欠かさず見るようになりました。利口な犬がたくさん出演していますので、家内と二人でいろいろ技を教え込みますが、唯一、「待て」が3分ほど続けられる位でしょうか。でも私たちにとって従順な孫がもう一人できたようなもので、いつも寄り添っていて、私の趣味のクラシック音楽を聴くときは大音響でもヒザの上で付き合ってくれます。寒がり屋のRyuにはそろそろ湯たんぽの仕度かなと思っている今日この頃です。

～ささやかな自己紹介～

黒山 恒夫(昭和43年法学部)



私は、生まれも育ちも東京ですが、縁あって15年程前から、辻堂の住人です。筑波大付属駒場中学・高校を経て、学習院大学法学部に入りました。大学では中川善之助先生のゼミで、また2年間

程ワングル部で活動しました。

卒業後は、機械・鉄鋼関係のメーカー(日本製鋼所)に36年余勤務しました。最後の10年程は、会社の健康保険組合に移りました。しかし、これが転機となり、人に関わる仕事に変わった為でしょうか、それ迄ほとんど出席する事の無かった学生時代の同窓会等に積極的に参加する、

という様変わりの状態となりました。現在では、会社のOB会（1年に3～4種類の会合）にも欠かさず参加しています。会社を離れてからは、現在まで医療関連の仕事を数年間続けております。

湘南桜友会には設立総会以後、多くの会合に参加させて頂いており、お世話になっております。今後は諸先輩方々のご指導を頂き、微力ながら会の発展にご協力したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

～学習院を巡る出会い～

板原直枝(昭和54年文学)



大学時代、厳しい毎日の授業の中で教授方に繰り返し叱咤されても、ドイツ語は上達しなかったが、本を読む時間と、語り合う友人はたくさんあった。「一般教養」で出会った

エリオットとジョイスにひかれた。

卒業後、一番厳しかった野村一郎教授は豹変した。一人の劣等生の就職先にまで出向いて下さり、先生の突然の訃報に接する直前まで10数年に亘りずっと励まし続けて下さった。

同窓の方々が持つ、こだわりの無い、たおやかに自由だが凜とした空気は、学習院の場で培われるものなのだと知った。

就職した大倉商事でも、結婚後暮らした香港でも桜友会に参加した。4年前より藤沢市東部地区の民生委員・児童委員をしているが、それぞれの場で、同窓の方々に助けて頂くことが幾度かあった。湘南桜友会においても、目白の地を介して、時空を越えて、私の周りにはあの空気があることが嬉しい。

最近、小説や詩の舞台を旅している。イタリアでは塩野七生氏(哲学科卒)の描く世界を巡った。エリオットの唄うイギリス文化を調べ土屋守氏(国文科卒)の本に出会った。

学習院を巡る多くの出会いが与えてくれたものの大きさに驚き、感謝している。

湘南桜友会の皆様には、引き続きどうぞ宜しくご指導頂けますようお願い致します。

【20年度(前半)の事業・サークル活動報告】

*地引網大会

今年も好天に恵まれ、7月26日(土)にご家族、お子様を含め60名の参加のなか、子供達の宝探しのイベントに続き、全員で網を引き、鯖やしらすの大魚に歓声をあげ、天ぷら、釜揚げしらす、バーベキュー等に舌鼓を打ち、夏休みの冒頭の楽しい一日を過ごしました。

来年も大勢の皆様のご参加をお待ちしております。



*バーベキュー・果物狩り大会

暑さもようやく峠を越えた9月6日(土)、藤沢市遠藤にある「弁慶果樹園」で、千葉県より参加された会員を含め総勢34名が参加して、全天候型の広いハウスの中でバーベキューやぶどう狩りを楽しみました。

又お子様達の紙飛行機の飛ばし競技等なごやかな楽しい大会となりました。



*** 20・秋「ウォーキング」の会**

10月22日(水)、晴天のなか13名の参加者で藤沢駅をスタートして、新林(シンバヤシ)公園の自由散策、古民家(写真)等を見学し江ノ島に河口を開く境川～約6kmのウォーキングを楽しみました。

昼食は江ノ島駅近の5階の眺望絶佳なレストランで喉を潤し、寛いだひと時を過ごしました。



*** 第3回会員交流ゴルフ大会**

11月17日(月)湘南シーサイドカントリー倶楽部にて、快晴のなか第3回目の親睦ゴルフ大会が開催されました。今回は秋の叙勲で旭日中授章を授与された会員の有村国広氏が滋賀県より遠路参加され、鎌倉桜友会6名の方々を含め17名が、プレーを楽しみました。

栄えある優勝者は、深江健治郎氏でした。



【21年事業計画・サークル活動予定】

- * 2月中旬 鎌倉・東慶寺散策他
- * 2月下旬 春季・ウォーキングの会
- * 3月 文化事業
- * 5月9日(土) 第6回総会及び懇親会
- * 6月初 会報9号発行
- * 7月末 地引網大会
- * 8月末～9月初 バーベキュー・果物狩り大会
- * 9月21日(月) SUC交流懇親会
- * 10月中旬 秋季・ウォーキングの会
- * 11月16日(月) 会員交流ゴルフ大会
- * 12月初 会報10号発行
- * 12月5日(土) クリスマス・年忘れ懇親会
～事務局便り～

第12回SUC交流・懇親会は9月23日(火)、グランドホテル湘南にて、17大学178名の出席者で盛大な会となりました。

来年9月21日(月)に開催される第13回SUC交流・親睦会は当会が幹事校になります。

本会は湘南藤沢地区の各大学同窓会の横の連携、親睦交流及び情報交換を図る趣旨で発足し、現在は中央、慶応、明治学院、神奈川、立教、早稲田、日本、青山、工学院、関東学院、明治、成城、学習院、東海、東京農業、日本体育、駒沢の17大学が加盟しております。

交流親睦会は各校の参加順の持ち回り当番制で、毎年9月に開催、毎年180～200名が参加し、当番校による楽しいアトラクションがあり、会を重ねるごとに同窓校の枠を超えた知人、友人が出来、和気藹々とした楽しい会になっております。

来年は当番校として多数の会員、ご友人のご参加を期待しています。(尚、詳細は追ってご連絡致します)

編集後記

*パソコンの操作上、現在「学習院桜友会ホームページ(全国便り)・湘南桜友会欄」の活動を停止しているために、ご迷惑をお掛けしておりますが、その間、従来通り湘南桜友会独自の“ブログ”<http://oyshonan.exblog.jp>を開示、ご覧頂ければ幸いです。